

9月27日(水) 本年度 第12回(通算 第2888回)

「ライラセミナー報告」夜間例会

担当/理事会・青少年委員会 18:30～ 釧路プリンスホテル

◆お客様と来訪ロータリアン

岩崎 翔 様(鈴木圭介税理士・行政書士事務所)

◆メーキャップ

9/21(釧路北 RAC) 伊藤 尚嗣君、川村 真一君、北川 健二君、中島 仁実君、仁木 久司君
宮下 洋介君、若林 新君、山岸 弘典君(以上8名)

家庭集会参加者55名より10名を本日のメーキャップとさせていただきます

(9/13:26名 9/27:10名 残り19名は後日分として)

◆出席報告【会員総数78名 免除6名 出席計算に用いた会員数78名】

本日の出席率 出席者名36名 メーキャップ18名 出席率69.2%

前々回の修正出席率 出席者名45名 メーキャップ26名 出席率91.0%

◆ニコニコ献金

- ・野遊会ご苦労様でした ～森山 義文君
- ・岩崎君がんばって下さい ～鈴木 圭介君
- ・親睦委員の皆様、野遊会お疲れ様でした。今日も宜しくお願いします。中島先輩、頑張ってください
～伊藤 尚嗣君
- ・ライラセミナー出席の皆様お疲れ様でした ～坂入 信行君
- ・誕生日ケーキありがとうございました ～迫田 武君
- ・結婚記念日のお花ありがとうございました ～佐渡 正幸君
- ・ライラセミナーお疲れ様でした ～篠原 恒也君
- ・親睦委員の皆様、野遊会お疲れ様でした ～萩原 昭博君
- ・本日担当例会よろしくお願いします ～中島 仁実君
- ・明後日で古希プラスワンとなります ～中嶋 嘉昭君
- ・親睦委員の皆さん野遊会ありがとうございました。娘もお世話になりました ～山岸 弘典君

◆会長挨拶 << 森山会長 >>



会長挨拶いたします。 先日23日は野遊会ということで山花で開催されました。

本間委員長をはじめ親睦委員会の皆様大変ご苦労様でした、大変楽しい野遊会を過ごすことができました。

本日はライラセミナー報告ということで出席された皆様方に報告していただくことになっています。

ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)は、年齢14～

30歳の若者を対象に、スキルと人格を養いながら、奉仕、高い道徳的基準、平和というロータリーの価値観を学ぶ機会を提供することを目的としています。今年度は稚内開催ということで出席された皆様方は大変ご苦勞様でした。

ライラセミナーといえば私は高橋貢・萩原昭博両パスト会長の3人で行ったことが記憶に残っております。かなり何年も前ですが何故あの3人だったのかは全く記憶にありませんが最初から最後まで酒ばかり飲んでいたり宴会の時に誰もいないテーブルで、3人で楽しく飲み食いしていたところそのテーブルが実は来賓席であったということが後からわかり、どおりで誰もいなかったはずだったというとんでもないことが記憶に残っています。あとは何も覚えていません、とにかくこのような報告の例会が当時はなかったということが幸いでありました。本日は我々の時とは違い、まじめな報告が聞けるとお思いますので楽しみにしておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

以上会長挨拶を終わります、どうもありがとうございました。

◆幹事報告 《鈴木幹事》



1. 平成29年4月に網走で開催されたPETS地区協の分科会報告書が届いておりますので、参加された会員のパーソナルボックスへ入れております。
2. 米山豆知識が届いておりますのでパーソナルボックスへ入れております
3. 2017年10月のロータリーレートは1ドル=112円となっております。
4. 記念日プレゼントと例会出席予定表を回覧しております。
5. 様より109回国際大会カナダ・オンタリオ州トロントの案内が来ておりますので回覧しております。
6. 第16回北海道ローターアクト交流会の案内が届いておりますので回覧しております。
7. 釧路北ローターアクトクラブ様より第7回例会のご案内が届いておりますので回覧しております。
8. 釧路交響楽団「協力会」様よりご支援の依頼が届いておりますので回覧しております。
9. 第1回家庭集会の報告書が出来ましたので、パーソナルボックスに入れております。
10. 次週例会は、経済と地域社会の発展月間によせてとなっております。釧路商工会議所地域振興部 部長の清水 政秀様をお招きし、「阿寒湖におけるIR誘致活動について」をテーマにご講演いただきます。

以上

「ライラセミナー報告」夜間例会

「第37回ライラセミナー in 稚内」報告書

鈴木圭介税理士・行政書士事務所

岩崎 翔

ただ今ご紹介頂きました、鈴木圭介税理士事務所の岩崎と申します。

今回「第37回ライラセミナー in 稚内」に研修生として参加させて頂き、そこで感じたこと、学んだことを簡潔ではございますが報告させて頂きます。どうぞよろしくお願いいたします。

今回の研修は一泊二日の研修で、稚内の市内視察、第52次日本南極地域観測隊員 市川正和様の基調講演、グループディスカッション、グループディスカッションの全体発表会という運びでした。

研修のテーマは「日本のてっぺん（稚内）から地域未来の環境を考える」ですが、地域未来の環境を考えた1つのモデルケースである稚内を実際に視察し話を伺い、また様々な地域の研修生とともに、地域未来についてディスカッションすることで、テーマについて深く考えられる研修となりました。その中でも、グループディスカッションをすることでテーマである地域未来の環境を考えるだけでなく、調整力やリーダーシップについて考えさせる機会を頂きました。

そう感じた理由を報告させて頂く為、まずグループディスカッションから全体発表会で起きた内容について報告させて頂き、その後、ライラセミナーの全体発表会で発表した内容を報告し最後に、今回の研修で学んだことを述べさせて頂きます。

私たちは第9班として、全体発表会に向けてグループディスカッションを行いました。テーマは「地域の未来を考えたとき、そこに見える課題を整理して、私たちが目指す地域の姿について検討し、問題の解決策をまとめる」とこでした。

そこでカリキュラムにあるブレイン・ストーミング法とk j法を活用し、班としての意見をまとめていくことになりました。その中で私は書記の役割を担い進めることになりました。まずリーダーが主導して自己紹介し、稚内視察の感想を言い合うということから始まりました。その後、ブレイン・ストーミング法によって環境の課題について、付箋に個人個人の意見を集めました。午後5時頃にはじめ1時間もしないうちに100個ほど意見が出ました。幸先よく進み、次にk j法を使い意見をまとめていく作業に入りましたが、そのあと班として話が進まず固まる事態となってしまいました。

というのは、ブレイン・ストーミング法で出た様々な意見について、ある程度の意見のまとまりが出来ましたが、課題どおしの意見をくっつける作業ばかりに躍起になり、最も大切な研究テーマの問題解決に向けた具体的な解決策がなかなか出せなかった為です。班にいる全員が何となく話が進んでいない事は承知しながら半ば雑談のような中身の薄い議論が続きました。

そうしている内に時間が過ぎ、終了30分程度前になっていました。そのときアドバイザーとして同席頂いた中島さんから「一度ぼやけている、課題をもう一度見直してみよう」というアドバイスによって、班のみんなが環境問題の解決策に向け、議論をしていこうという方向転換が出来ました。

また班のリーダーも変わり、新しいリーダーによって、話が進み、結局、終了時間を30分ほどオーバーしましたが、なんとか班としての意見がまとまり全体発表会に臨みました。

以上がグループディスカッションから全体発表会で起きた内容となります。

続きまして第9班としてグループディスカッションし、ライラセミナーの全体発表会で話した内容を報告させていただきます。

「9班は環境問題について話し合ったときに、一人ひとりが環境問題を身近に感じていないということが議題に上がりました。その為、異常気象や地球温暖化などに対して、疑問を持つことが大切なのではないかとことに気づきました。その中で、個人・国・事業者という3つのカテゴリーに分けて分類しました。

個人でできることは、「ゴミの分別・節水・エコバックをもつ・公共交通機関を利用してCO₂を削減する」などといった誰でもできる基本的なことをみんなでやっていこうということで、国にお願いしたいことは、個人でできることは限界があるので、稚内のソーラーパネルなどを普及させるため、補助金などが必要であると考えました。また、事業者でできることは、私たちの班には農家さんがいた為、例えば事業者のうち酪農家は糞尿を有効利用することができるのではないかとということになりました。糞尿を余すことがある為、それを横のつながりを利用して、上手い事活用していくことができるのではないかと話になりました。

最後にまとめとして、個人でできることを進めていって、一人ひとりが意識して行動することで周囲にも影響を与え環境問題をより身近な問題としてとらえられる地域になるのではないかと結論付けました。」

以上が、私たち第9班が「地域の未来を考えたとき、そこに見える課題を整理して、私たちが目指す地域の姿について検討し、問題の解決策」に向けてグループディスカッションし全体発表会で発表させて頂いた内容となります。

これまで研修会の中で、グループディスカッションで行き詰まった話、アドバイザーのアドバイスやリーダー交代、そして私たち第九班が全体発表会で話した内容について述べさせて頂きました。

最後に今回の研修の経験から学んだことを報告させて頂きたいと思います。それは最初に述べた「調整力やリーダーシップ」の重要性に気付けたことです。

なぜなら、ディスカッションの際、アドバイザーのアドバイスやリーダーが変わったことで、意見が急速にまとまった経験から、リーダーの力量によって、グループ全体の方向性が全く変わることを痛感し、また意見や人間関係を調整することがいかに難しく重要であるかを感じたからです。グループディスカッションを進めていく中で、一人ひとりはっきりとした意見を持っていたとしても、複数人のグループとして意見をまとめていくためには、この2つが重要だと感じました。

オーストリア出身でビジネス・コンサルタントの創始者として知られるピーター・ドラッカー氏のリーダーシップに関する発言で“リーダーは尊敬されるが、必ずしも好かれるとは限らない。”ということおっしゃっていたそうです。

私は、書記の立場から、班の意見を書くことのみに徹し、班全体が停滞しているにも関わらず、煙たがれることを恐れ、テコ入れをするなどのリーダーシップをとれませんでした。そこが今回の研修の最大の反省点だと感じ、自身が不足している能力に気づくことが出来ました。

そしてまたこの2つの能力は元々持っているものではなく、こうしたグループディスカッションや発表会を重ねることで養われるのではないかと感じました。

稚内は「人と地球にやさしいまち」を目指し地域全体として取り組んでいると思います。稚内ホテルに宿泊したとき、水が流れないトイレを設置している等徹底しており驚きました。こうして地域全体が一つの方向に向かって地域づくりを進めていく裏に、各関係者間で大変な調整があったと思います。そこには、大きなリーダーシップが働き、そうして環境問題に取り組む地域の特色が出てきたのではないかと思います。

このようにして市区町村で地域の特色をだす過程において、また私たち第九班がグループディスカッションで意見をまとめる過程において、同じようにこうした能力が必要なのだと肌で感じました。

今回の研修を通じて社会の中で大小さまざまな問題を解決していく上で最も必要な能力とは何かを考えさせるきっかけを頂き、そうした能力を養う機会を頂き大変唯意義な研修となりました。今後また、こうした機会がありましたら、自身の能力を高める為、積極的に参加していきたいと思います。

以上をもちまして、報告を終わります。 ご清聴ありがとうございました。

